

オホーツク網走マラソンのWEB化

鹿児島大学 法文学部 法経社会学科
市川ゼミ所属 3年 山下琴音

目次

1. はじめに
2. オホーツク網走マラソン
3. オホーツク網走マラソン 2020 on the web
4. 感想
5. 参考資料

1. はじめに

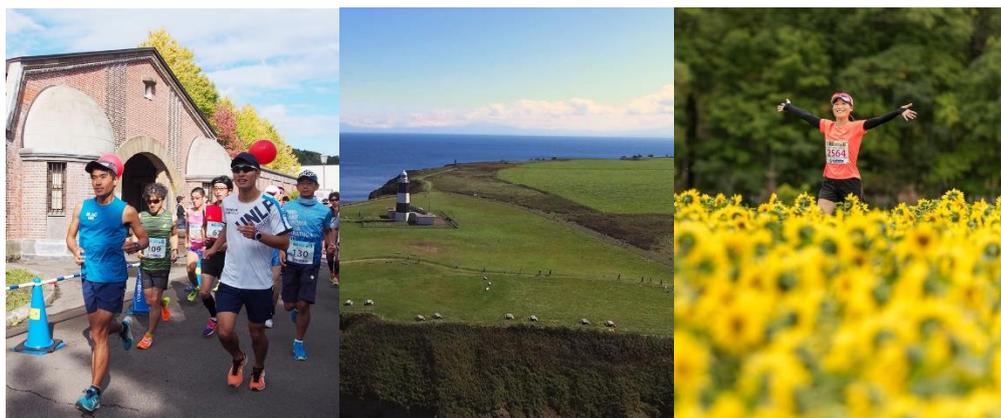
北海道網走市で 2015 年に始まった「オホーツク網走マラソン」。知名度の高い網走刑務所をスタート地点し、特産のブランド和牛の焼き肉を食べることができる給水所など、ユニークな取り組みが人気を集め、3000 人が参加するイベントにまで成長した。

新型コロナウイルスの影響で全国各地のマラソン大会が中止される中、オホーツク網走マラソンも中止に追い込まれた。しかし、網走市では実際にコースを走る「リアル」の大会を中止する代わりに、オンライン上でタイムを測定する「web マラソン」を 2020 年 9 月に開催した。

2. オホーツク網走マラソン

観光施設ではない、れっきとした法務省管轄の刑務所である網走刑務所をスタート地点とし、マラソン中はオホーツク海や能取湖、知床連山が眺められる。ゴールでは広大なひまわり畑がランナーを出迎える。5km 以降、約 2.5km 毎に、東京農業大学生物産業学部の学生が中心となって運営する元気（エイド）ステーションが設置されている。各元気ステーションでは、しじみ汁や和牛、長天（かまぼこ）など網走自慢の味覚を楽しむことができる。フィニッシュ会場にはランナーをはじめに、来場者全員が楽しめる飲食ブースも設けられている。

参加賞として、3km・5km の部はスポーツタオル、マラソンの部はオリジナルアクティブポーチをもらえる。さらに、参加者全員に YAMAtune ブランドのオリジナルデザインのランニングソックスがもらえる。そして完走すると、スタート会場の網走刑務所で作られた世界でひとつの焼印入りのメダルをもらうことができる。



3. オホーツク網走マラソン 2020 on the web

開催期間は2020年9月14日から27日の2週間であった。7月1日から始まった大会のエントリーの受付は好調で、定員3000人のエントリー枠が1週間で完売した。8日には追加の枠を300人分作るなど対応に追われた。

オンライン上でマラソン大会を実施する「webマラソン」では、専用のアプリ「TATTA」をスマホにダウンロードすることが必要であり、スマホのGPS機能を使って、走った距離と時間を測定し、その合計が42.195kmに達すればゴールになる仕組みだ。参加ランナーは網走市に集まるのではなく、それぞれが住む地域で走る。大会期間の2週間の中で、好きな時に好きな場所で好きなだけ走れるのがwebマラソンの特徴だ。

オンライン上でマラソン大会を行うということが初めてであったこともあり、当初は網走市もランナーに受け入れられるか不安に思っていたが、いざ告知を始めると評判は上々だった。マラソン大会が各地で中止される中、大会に参加することを目標にして“走るモチベーションを維持したい”と考える市民ランナーのニーズが存在していたのだ。

実際に現地を走ることができないwebマラソンでは、ランナーにご当地ならではの魅力をいかに伝えられるかが大切であると考えた網走市は、ランナーたちの期待に応えようと、大会のフェイスブックにコースの見どころを伝える動画をアップすることにした。また、実際にどのような景色が見られるかを伝えることで、来年以降に復活する実際のマラソン大会への参加につなげたい考えだ。

今回の大会では“特産品のPR”でもひと工夫を加えた。一般エントリーは3000円であり、参加賞はランニングソックス、流氷飴、協力各社からのノベルティだ。そして定員3000人のうち100人限定の特別枠として設けたのが「網走応援エントリー」だ。大会の特徴の一つである“特産品を食べることができる給水所”の代わりに取り入れられた。エントリー料は1万5000円で、参加賞に加えて特産の毛ガニ2杯かブランド和牛650グラムがもらえる。特産品は網走市が地元企業から購入し、新型コロナウイルスの影響で落ち込む市内に経済

効果を行き渡らせることを狙っている。この試みは地元の水産会社も歓迎している。水谷市長は来年以降のマラソン大会をリアルと web の両方で行うことも含めて検討したいとしている。



4. 感想

マラソンを web で行おうとする発想を既存のアプリを使って実現させ、それに対応できることが、with コロナの中で必要とされていたものだと感じた。ステイホームによって運動不足だと感じている人にとっても機会となるだろう。

今回の web マラソンによって、わざわざ北海道に赴かなくてもマラソンに参加できることとなったために、道外からの参加者は来年度以降もこのマラソンに参加する機会を得ることができた。また、コロナが落ち着いた後に、マラソンをきっかけに北海道を訪れる人もいよう。ピンチをチャンスに変えたとも言えるマラソンの web 化は、北海道に限らず、他の都道府県でも行うことができるだろう。その地域の特産品が広まるとともに、その地域の経済も循環させることができる。網走市が運営している公式サイトへの対応の早さや SNS の更新の多さが参加者の安心にも繋がったのだろうと感じたため、他の自治体で行われる web マラソンがそのような特性を持ち、それがどのように効果を発揮していくのかが楽しみだ。

5. 参考資料

- ・「WEB ニュース特集 with コロナ時代のマラソン大会 ～網走 web マラソン～」
(<https://www.nhk.or.jp/hokkaido/articles/slug-n319d9222bb1>) (閲覧日 2021/2/10 以下同様)
- ・「オホーツク網走マラソン 2020 【公式】」(<https://www.abashiri-marathon.jp/>)